

□ 要請番号 (JL46920A25)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モロッコ	H105 看護師		個別	交替 2代目	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

エルハジャブ県保健支局

3) 任地 (エルハジャブ県エルハジャブ市) JICA事務所の所在地 (ラバト)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同支局は、エルハジャブ県内の1か所の県病院と9か所の保健センターの管理・運営の改善を図りながら、地域医療サービスの向上に取り組んでいる。同県は、2004年から3年間、JICAの「地方村落妊産婦ケア改善プロジェクト」でパイロット県となり、保健人材の育成及び保健教育の改善が行われ、また、機材供与、医療関係者の本邦研修、専門家派遣などが行われた。同保健支局には2006年から短期派遣を含めたJICA海外協力隊が5代に渡って派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

保健省は2007年から医療サービスの質コンクールを開始し、2013年には病院、保健センター、産科病棟、等複数部門において保健医療サービスの質に関するコンクールを行うことで、同サービスの質の向上を目指している。JICAは2009年からきれいな病院プロジェクトを開始し、本邦研修や青年海外協力隊(JV)派遣を通じて5S-KAIZEN-TQMアプローチによる医療サービスの質の向上に関する支援を行った。同保健支局には2006年から短期派遣を含めたJICAボランティアが5代に渡って派遣されており、前任者は母親学級の普及に取り組む傍ら、5S-KAIZENの概念の定着・普及に取り組んだことが高く評価され、今後は業務環境改善を目的とした活動を期待されており、後任の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

県内保健センター又は県病院にて以下の活動を行う。身体への侵襲行為は行わない。

1. 病院・保健センターの業務環境改善やスタッフの業務方法の改善、カルテなどの情報の整理整頓、患者に提供するサービスの改善等に関し助言・提言
2. 県支局、病院、保健センタースタッフ対象の5S-KAIZEN-TQMに関する指導
3. 地域の保健センターで母親学級の普及と質の改善のフォローアップ

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

啓発用教材(DVD、紙芝居、ガイドブック等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

支局長(医師)50代1名
地域医療担当課医師長50代1名
地域医療担当課看護師長50代1名
母子保健担当30代1名
統計担当50代1名
保健センタースタッフ(医師、看護師、助産師)

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(看護師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：(女性) 備考：対象者の殆どが女性のため

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：同僚への指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(-5～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

啓発活動のみで身体への侵襲行為は行わない。5Sという言葉にこだわらず、現地に適応可能な活動を展開することが期待される。モロッコの医療従事者は日本とは考え方が異なるため、背景を理解する姿勢が求められる。